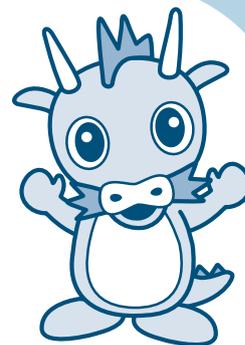


鐘の音

～かねのね～



vol.50
2023.10 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

公募型共催事業に新しい団体加わりました！

さいたま市男女共同参画推進センターと団体が協働で実施することで、地域における多様な課題解決につなげていくことを目的として、公募型共催事業を実施しています。
この度、新しい団体が加わりましたので、ご紹介します！

団体名 えいけいじえい

えい(Agree、同意・合意する)、けい(Keep、続ける)、じえい(Join、共にする・結びつける)により、人々がわかり合えることを目的とした団体です。

人と人との意思疎通を通じて、お互いを信頼し、幸せな人生を送るためのコミュニケーション能力を学びます。特にアンコンシャスバイアス除去のスキルを磨き、円滑な合意形成を実現することを学びます。

わかり合える幸せのコミュニケーション講座

日々の人間関係で、自分の気持ちが上手く伝わらない・・・と思うことはありませんか？
コミュニケーションを円滑に進め、お互いの気持ちを尊重し合うことは、多様性を受け入れるための第一歩です。

ポジティブ心理学の知見から、わかり合える人間関係構築のヒントを学びます。



開催日時やお申込み方法など、
詳しくは、さいたま市ホームページをご覧ください。

Agree, Keep and Join
for Community.



令和5年10月時点の予定です。
最新情報は、さいたま市ホームページで検索してご確認ください。

令和5年度「女性の知恵で社会をデザインする講座」

本講座の目的は、社会の課題について、解決のための提言を行うプロセスを体感的に学ぶことです。今年度はパートナーシップさいたまと埼玉大学とのコラボレーションで、学生と市民がともに学ぶ形で行われました。全8回のうち、1〜2回目に参加して感じたことをレポートします。

1回目 講義「女性の知恵で社会をデザイン」なぜ必要か

瀬山紀子さん（埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授）の、「決めごと」の場にいるのは誰か」を問う視点を持つことについての講義を聞きました。

車の規格、職場の仕組みなど、社会の様々な事柄を決めているのは誰なのか？決めごとの場はどのような構成になっているのか？特にジェンダーに視点を置いてみると、決める側と、疑問や不便があっても強いられる側が、性別によって偏っているという事に気づく、という話が印象に残りました。

あるエピソード、「背が低くて通学で使う電車の中で、周囲の人に押しつぶされそうになる、つり革は高くて使えず、荷物棚は高くて使おうとも思わなかったが、そもそも背の低い自分が悪いと思っていた」という経験に考えさせられました。

2回目 ワークショップ「想いをカタチにすると何かが始まる」

古川晶子さん（パートナーシップさいたま事業コーディネーター）の進行で、小グループでテーマに沿って話し合いました。「ふつうでしょ」という言い方を元に、それぞれが思う「ふつう」を出し合いました。学生の間は保護を受けていますが、社会に出ると様々な差別や偏見、悪しき慣習の洗礼を受けます。世代の違う意見を聞いて話し合いができる社会、自分を大切にできる社会になってほしい！

社会問題のもとになっていることはジェンダーだけではありません。障害の有無、国籍、セクシュアリティなど、多様性を図るさまざまな指標があります。しかしジェンダーは特に、今の社会では多様性の達成度を測る際の最初の、そして重要な視点だといえます。

私は、女性・子どもの問題を何とかしたいと思って学び、活動しています。今回は大学生も一緒に学べたのがよかったですと感じています。いろんな人を巻き込んで、自分らしく生きるすべを見つかけたいと思います。

（武田礼子）

講座の
実施報告書は
こちら



令和5年度 男女共同参画週間記念事業

「国内外の取材を通して考えるジェンダー平等」

講師：安田 菜津紀 氏

（認定NPO法人Dialogue for People副代表／フォトジャーナリスト）

私は海外の戦争のニュースを目にすると、歴史的・文化的背景を理解するのが面倒で、悲惨な現実には暗く悲しい気持ちになるので詳しく見ようとしませんでした。

しかし、安田菜津紀さんの講座を聴いて、世界が戦争に注目する大切さを知ることができました。戦禍でのジェンダー平等は今どうなっているか、これからも注目していきたいと思いました。

ウクライナとロシアの戦争は毎日報道されています。ウクライナでは18歳から60歳の男性は原則国外への避難が認められていません。女性と子どもだけの避難なので国境付近で人身売買の被害に遭わないよう支援団体が見守っています。

打って変わって2011年に始まったシリアの内戦の報道は目にする機会はほとんどありません。講座の中で、気温が45度近くなるシリア国内の難民キャンプでの女性の言葉が心に刺さりました。

「なぜ私たちが置かれている状況はウクライナほど世界の注目を集めないのでしょうか」

私のように世界の情報に注目しない人々が増えると情報自体が減っていきま。安田さんの「報道の格差、情報の格差が支援の格差。言ってみれば命の格差に直結している」という言葉を聴き、注目しないことの重大さを知りました。

シリアのなかでのジェンダーの問題は、女性の低年齢での結婚です。家庭の経済的負担を減らすため、若い女性が人身売買のターゲットにならないように家族が娘を進んで早く結婚させています。親心から娘を早期結婚させていると知ってショックを受けました。女性が家庭を築くことと同時に経済的に自立できる教育も大切だということを知りました。このことは戦禍だけでなく日本においても言えることだと思っています。

国内外でジェンダー不平等を防ぐには考え方、意見が硬直化しないように色んな性別、立場から意見を直接出すことだということが分かりました。

（O. つか）



パートナーシップさいたまからのお知らせ

11月19日は「国際男性デー」です。

「国際男性デー」は「男性・男児の健康に目を向け、ジェンダー平等を促す」を趣旨として、1999年にトリニダード・トバコで始まったとされています。世界の複数の国々では、この「国際男性デー」を記念日として、イベントやキャンペーンを実施しています。

「男だから〇〇であるべき。〇〇しなければならない。」といった「ジェンダーバイアス」は、男性の「生きづらさ」につながると同時に、ジェンダー平等実現の妨げになるものです。「ジェンダーバイアス」に囚われることなく、一人ひとりの「自分らしさ」に目を向け、お互いを尊重することが大切です。

パートナーシップさいたまでは、「国際男性デー」を記念して関連講座を実施します。(参加にはお申込みが必要です。)

国際男性デー記念講座(オンデマンド配信講座)

男性のライフサイクルと悩み

講師

福島 充人さん(一般社団法人日本男性相談フォーラム代表理事・臨床心理士・公認心理師)

動画配信期間

令和5年11月15日(水)~30日(木)

申込み方法

令和5年10月4日(水)~11月22日(水)にパートナーシップさいたまホームページからお申込みください。



また、男性を対象とした相談も実施しています。(詳しくは4ページをご覧ください。)

市民企画講座のご案内

市民の活動及び交流の支援事業として、様々な分野で活動している団体に講座の企画・運営を経験する機会を提供し、男女共同参画のまちづくりを推進することを目的としているものです。

DAYA(ダヤ)

性被害等について、自分自身のストーリーを物語る「セルフナラティブ」の手法により、性被害等の経験を演劇化することを通じて社会の性被害に関する認識を変えることを目的として活動している団体です。

性被害当事者による写真展及びトーク

日時 令和6年1月20日(土) 14:00~15:30

会場 パートナーシップさいたま

内容 小さな声をかたちにする
~STAND Stillの活動から~

講師 大藪順子ほかSTAND Stillメンバー

定員 20人(先着順)

申込 10月1日(日)~令和6年1月10日(水)まで

パートナーシップさいたまホームページにて



世界女性開発機構

ジェンダー平等と世界のひとびとの平等をグローバルに推進することなどを目的としている団体です。

「マイ・レヴォリューション 私革命」 声はあげられる!

日時 令和5年11月5日(日)、11月12日(日)、
11月19日(日)、11月25日(土)
いずれも14:00~15:30

会場 パートナーシップさいたま

内容 海外NGOとの連携等から培った手法から、女性たちに声をあげることの必要性を共有する講座や意見交換を行います。

講師 世界女性開発機構代表 石井さやか ほか

対象 女性

定員 20人(要申込)



最新情報はホームページでご確認ください

相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室
子ども家庭総合センター内 ☎048-711-6650
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00
(年末年始を除く)浦和区役所 女性の相談室 ☎048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)中央区役所 女性の相談室 ☎048-840-6132
火・金/10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)岩槻区役所 女性の相談室 ☎048-790-0158
月・水/10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)

●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室 ☎048-711-6101
第2・第4日曜日/13:00～16:00

●女性のDV電話相談

☎048-762-3880
月～金/10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所 パートナーシップさいたま
予約電話☎048-642-8107

実施日時 第2水曜日/13:00～15:50(30分単位)

実施場所 男女共同参画相談室
予約電話☎048-711-5739

実施日時 第1・第3火曜日/13:00～15:50(30分単位)

●男性のための法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所 パートナーシップさいたま
予約電話☎048-642-8107

実施日時 第4水曜日/16:30～19:20(30分単位)

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

実施場所 男女共同参画相談室
予約電話☎048-711-5739

実施日時 第4火曜日/13:30～16:15(45分単位)



HPIはコチラ▶

ほっとたいむ

昨年や一昨年よりもずっと、コロナウイルス感染症による規制が緩和されて、日常が戻ってきたように思えます。先日私は、久々に祖父の家を訪れました。小さい頃、ビールを注ぎながら、「成人したら一緒にお酒を飲もう」という約束もついに叶いました。そんな祖父の最近の口癖は、「結婚はまだか」。これから社会人になる私も、人生設計やキャリアアビジョンを立てる上で「結婚」は避けられないワードですが、「いつ結婚するの?」なんて、私も聞きたいくらいです。

今日の日本は晩婚化が進行していますが、この背景の1つに、男性に依存しなくても女性が生活できるようになったことが挙げられると思います。つまり、女性がある程度の経済力を持っているということは、だんだんと働く上で男女の格差が狭まっていると考えられるのではないのでしょうか(もちろん管理職には、まだまだ男性が多く、女性はおまけ程度の人数ですが)。少子化問題の面から見ると深刻な晩婚化ですが、職場での男女不平等については改善の方向に進んでいるという視点で考えると、男女平等な社会への進歩かもしれません。そして、これは私の空想に過ぎないのですが、この晩婚化の問題が解決に向かうというのでは、男性が育児や家事を「手伝う」のではなく、男女関係なく「[part]」、が常識になっていくことだと思います。生物学上、女性にしか出産はできないですが、「母だから○○」「母なのに△△」という固定概念もいつかは覆され、性別に拘らずに家族の一員でいられる未来があるのかもしれない。

(れんきあやか)



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。

郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.50 2023年10月1日
(編集・発行)さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)
編集員/O.しほ、ささきあやか、武田礼子〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

10・3月発行(年2回)

この広報誌は42,000部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。

